

令和6年度 第1回 曳馬小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年5月2日(木) 午前 10 時 20 分から 午前 12 時 10 分
- 2 開催場所 曳馬小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 飯尾忠弘、川井啓介、戸田京子、荒巻太枝子、鈴木香代、黒田淳二
- 4 欠席委員 中村佐知枝
- 5 オブザーバー 伊藤成明(曳馬協働センター)
- 6 学校 竹内孝夫(校長)、古橋孝文(教頭)、鈴木正委(CS担当職員)、内堀邦子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 内堀邦子(CS ディレクター)
- 10 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、飯尾忠弘委員を会長に推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された飯尾忠弘会長から、川井啓介委員を副会長にする旨の報告があった。

11 議長選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ飯尾会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

12 協議事項

- ① 令和6年度 学校運営の基本方針について(竹内孝夫校長)
- ② いじめ防止等のための基本方針(竹内孝夫校長)
- ③ 「夢やらまいか事業報告」について(古橋孝文教頭)
- ④ 報告
 - ・「学校支援の在り方」について(鈴木正委主幹教諭)
 - ・昨年度の活動報告(飯尾忠弘会長)

司会の古橋教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。オブザーバーとして、曳馬協働センターの伊藤成明さんに参加していただいた。

13 会議記録

曳馬小学校運営協議会は令和3年に立ち上げ、今年は2期目(1期/3年)に入った。

浜松市内全ての学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなった。学校運営協議会の目的を理解いただき、委員の方の知見やネットワークを活かし、特色ある学校作りへの計画から活動に参画し御協力をお願いしたい。

学校運営協議会の規則の確認を行った。(令和5年第4回運営協議会委員議事録参照)

運営協議会委員自己評価および学校評価について説明を行った。

昨年度学校運営協議会自己評価を検証し、今年度の目的につなげる。(鈴木陽子)

令和5年度第4回学校運営協議会要点記録の内容について確認し、承認した。(別紙参照)
(飯尾会長)

① 令和6年度 学校運営の基本方針について (竹内校長)

令和6年度学校経営構想の説明を行った。別紙参照

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、以下の発言があった。

＜グランドデザインについて＞

- 別紙の学校経営構想があり、別紙の学校運営方針があると捉えてよろしいですか。

(飯尾会長)

- 学校経営構想の中に、学校の教育目標、基本方針があり、それに沿った運営を行っている。運営方針は別紙の中の学習推進と安心安全や連携について書かれているもの。詳細はあり、教職員には示しているので、次回示していく。昨年までは、㊦㊧㊨は知徳体のからめた目標を掲げていた。しかし、「苦しくても頑張る子」などは、社会状況が大きく変わり、苦しいときは休んでもよい子もいるなど多様な教育を必要とする子も増えてきている。そのため学校教育目標が変わってきた。新しく変わった学校教育目標を子どもたちにわかりやすく浸透させていくための文言を掲げた。今後は、キャリアパスポートなどを通じ子どもたちに浸透させていきたい。(竹内校長)

《学校教育目標》未来をえがき のびやかに学ぶ曳馬っ子

！よろこびをつくり出す【探究・創造】

★よさをのばす

＋力を合わせる

→これからをえがく【目標・選択】

- 記号を使った学校教育目標は子どもに馴染みやすく、わかりやすい。(飯尾会長)
- 学校教育目標は大まかに載っているが、詳細はないか(黒田委員)
- 詳細はあるので、次回示していきたい。(竹内校長)
- 今まで掲げていた目標の「ひくま」は全てなくなって、目標が急に変わった。子ども達が理解していくことができるか心配。(川井委員)
- マークを使い子どもたちに浸透させていけると良いと思う。(川井委員)
- 学校教育目標が㊦㊧㊨から変わったことについて子どもから聞いていた。高学年になると学校教育目標に興味をもっているようだ。学校教育目標にアイコンを使っているよと思った。(黒田委員)
- 学校経営構想を見たとき、抽象的に感じたが、令和5年度の学校評価を見て評価が低いことを教育目標に掲げていることが理解でき、実態を生かした教育目標だと思った。子どもに浸透するのに時間はかかると思うが、マークが使われ理解しやすい工夫され良いと思った。(戸田委員)

学校経営構想の校長先生からの説明について理解し、全員異議なく承認した。(飯尾会長)

② いじめ防止のための基本方針について(いじめ防止等のための基本方針参照)

<変更点>

- いじめは、一定の人間関係の中で児童が苦痛に感じた場合に認定される。学校は真摯に対応していく。年4回いじめアンケートを行っていたが、夏休み明けすぐの9月に行うアンケートは効果がうすいのでやめ、子どもたちの負担を減らすため年3回行うこととした。その3回のうち2回は浜松市推奨のシャボテンという webアンケートを行う。浜松市も把握できるため行っている。低学年には紙アンケートに比べwebアンケートは負担が大きい。
いじめに対しては、発覚した当日に解決のため動く。欠席者への対応が抜け落ちないように気を付けて進めていきたい。(竹内校長)
- 9月のアンケートの効果がうすいとはどのような点でうすいのか。(黒田委員)
- 6月にアンケートを行い、夏休み明けすぐにアンケートを行うと6月のアンケートのことを再度書くなど子どもが混乱する。6月のアンケート結果で挙げたことは7月の面談などで解決してから夏休みに入るため、9月は特にアンケートで問題が上がってきにくい。(竹内校長)
- 家庭で2人くらいの子どもの見ることも大変。学級担任は約 30 人の子どもへ対応していくことはとても大変なこと。先生の精神安定のために運営委員がどのように寄与できるか考えていきたい。(黒田委員)
- 最近の学校のいじめは陰湿化しているが、アンケートでどれくらい効果があるのか。
(戸田委員)
- アンケートで100%把握することは難しい。アンケートに書かない子もいるので、注意深く見ていくことは大切。低学年と高学年でも違う。高学年は小さいことはアンケートに書いてこない。自分で消化している。その力を付けることも大事だと思う。低学年は自分がやっているけど他人のことを細かく書いてくる。やられたこと、やったこと、見たことについて書く欄があるため一定数の情報が集まり、特定化できる。また、アンケートが行われることでいじめの抑止につながっていると思う。(竹内校長)
- いじめは悪いことだと指導すると学童期の子どもは正義感が強いため、物事を全て善悪で判断していく傾向がある。その善悪で判断することで、新たにいじめにつながる可能性がある。相手の思い考えなどを否定せずに受け取る視点を持つことも大切。どのように伝えていくつもりか。(荒巻委員)
- 学年に応じて学年集会で相手の思いや考えを受け止めることを指導している。(竹内校長)

いじめ防止基本方針について協議の結果、全員意義なくこれを承認した。(飯尾会長)

③「夢育やらまいか事業報告」について

市から予算をもらい学校教育の充実を図っている。例えば学校行事カレンダーを作成し地域とつながって活かしている。また地域の方を講師として招き、地域を知り愛着を持ち、誇りをもつ

てもらえるようにしていきたい。予算を学校の環境整備や子どもたちへの地域の特色を生かした学習を行うために使っていきたい。(古橋教頭)

夢育やらまいか事業報告について、全員異議なくこれを承認した。(飯尾委員)

④報告

●授業支援の報告(鈴木主幹教諭)

コミュニティ・スクール協力依頼

昨年度は家庭科の実習、花壇の水やり、3年生の書写の協力をしていただき、今年度も継続して協力していただける。

総合的な学習や社会科生活科などの講話的な協力をお願いしていきたい。

具体的には3年生の社会科「市の移り変わり」の単元の際、昔の曳馬について話をしてもらいたい。4年生の総合的な学習の時間で「地域防災」のことや、6年生の総合的な学習の時間で「生き方講座」のことで講話をしていただける人材を探していただきたい。

水泳や1年生の生活科「昔の遊び」もボランティアを募集したいと考えている。

- 子ども部会があり、10月に工作教室を協働センターで行っている。また、以前3年生に工作教室などを行ったことがある。協力できることがあると思う。(川井委員)
- 今後学年主任からニーズをまとめ依頼していく。また、委員の方から提案をお願いしたい。

(鈴木主幹教諭)

- 協力依頼を具現化するため、運営委員は具体的に何をするのかよく分からない(戸田委員)
- 運営協議会は協議する組織なので、学校に協力するアイデアを提案していく組織。実際の活動は地域とつながっている委員の方や協働センターが人材を探し、その方達が活動を行う。現在コーディネーターと言う立場の人が地域をつなぐ役だが、現在曳馬小学校の運営協議会は不在のため、コーディネーターの人材搜しの協力をお願いしたい。(鈴木陽子)

昨年度の活動報告(令和5年第4回運営協議会議事録参照)

- 運営協議会自己評価シートについて説明
- プール指導の補助を学生に依頼できる方法を早い段階で模索している。(飯尾会長)
- プールの監視役は研修が必要だと思うが、そこは大丈夫か。(伊藤オブザーバー)
- 授業には必ず教員がいるので、研修の必要は無い。(竹内校長)
- 体育振興会やPTA等に依頼はできないのか。いつの間にか体育振興会やPTA等の協力体制がなくなっている。その見直しを行ってはどうか。(川井委員)
- 学校内で見直しについて話し合ってみる。(竹内校長)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年8月7日(水)午前10時20分から多目的ホールで開催する旨の報告があった。

次回以降の議長は会長が行う事に全員異議無く承認した。